２０２２セミナー二次障がいを知り、二次障がいになっても

元気で活動している脳性まひ者の話を聴こう

世界一高齢化の進んだ日本では、障がいのある人たちの高齢化も進んでいます。

それと共に脳性まひ者には、二次障がいへの不安が広がっています。二次障がいについては、一般的に馴染みのないものですが、脳性まひ者にとっては非常に重大な問題です。二次障がいについて、また障がいのある人々の暮らし・活動について、一般市民の皆様にも理解して頂ければと考え、下記のセミナーを開催いたします。多くの方にご参加いただければ大変嬉しいです。

セミナー①では、脳性マヒの二次障がいによる頚椎手術の第一人者である三原久範先生（横浜南共済病院）のお話をお聴きします。

セミナー②及び③では、三原先生の手術を受けて元気に暮らす３人の、障がいに向き合ってきた道のりと、「安心して楽しく暮らす生活ぶり」を伺い、二次障がいの悩みを抱える方々の不安等にお答えします。

福島県及び全国の障がい者の皆さんと市民の皆さん、会場とzoomを結んでセミナーを開催いたしますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

開催日時　2022年7月30日　（土）　13:00-16:30　　入場無料（資料代500円）

参加方法 会場参加　又は　Zoomによる参加

会場：郡山市総合福祉センター　（福島県郡山市朝日１－２９－９）



セミナー①　脳性マヒの二次障がいによる頚椎手術について

**国際頚椎学会日本機構理事**

**横浜南共済病院副院長　　三原　久範 先生**

三原久範先生

セミナー②　事例報告

 ①70代に3回の頚椎手術をし、一人暮らし継続

新田通子氏

……**支えあう21世紀の会理事　新田通子氏**

 ②障がい者の自立生活のサポートのためにあいえるの会を立ち上げる。

２回の頸椎手術を受け、無事に復帰する。

　……**あいえるの会理事長　白石清春氏**

白石清春氏

③頚椎手術を受け介護保険＋障害者総合支援法を有効に使う

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　……**あいえるの会理事　橋本広芳氏**

橋本広芳氏

セミナー③ 「懇談」 障がいがあり、高齢になっても地域で安心して、楽しく暮らすには

「障がいがあっても、高齢になっても、地域で安心して暮らすために」は、

どのような課題、対策があるのか？報告者による懇談と、質疑の中で考える。

共催　NPO法人 あいえるの会、　NPO法人 支えあう21世紀の会

協力　NPO法人国際頚椎学会日本機構、福島県障がい者自立生活推進連絡会

後援　福島県、福島市社会福祉協議会、郡山市、郡山市社会福祉協議会、ＤＰＩ日本会議

|  |
| --- |
| セミナー参加申込書 |
| 参加方法　（どちらかに○） | 会場参加　　・　　Zoom参加 |
| お　名　前 |  |
| ご　住　所（お住いの市町村だけでもご記入下さい） |  |
| 電話番号 |  |
| メールアドレス（Zoom参加の方必須） |  |
| その他、要望があれば |  |

※zoomによる参加については、申し込みのあった方に、メールにてＵＲＬ、ミーティングＩＤ、パスコードをお送りいたします。

いただいた情報は、セミナーの開催に関連するご連絡等にのみ使用いたします。情報の取り扱いには万全を期し、先の理由以外では使用することはいたしません。

　　　参加申込先

あいえるの会の事務局あてにお送りください。（メール、郵送、FAX）

あいえるの会 事務局

〒963-8022　福島県郡山市西ノ内2-11-15

ＴＥＬ：024-954-5504　／　FAX：０２４－９２5－４５５８

メールアドレス　**officeil@cronos.ocn.ne.jp**